

第66回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

アナウンス部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点 /500	講評
1	桜塚	高橋	入選	メリハリ、間が足りない。文が短いのは良い。高低の幅が少ない。落ち着いたアナウンス。文末もっと安定すれば良い。かたい読み方。原稿はわかりやすい。もう少し話すように読んで。文末が走る。文頭が低い。長い文に迷いが見られる。
2	府箕面	大出	345	せり上がる感じのイントネーション。声が前に出ていない。内容に活気が欲しい。取材の仕方もう少し工夫しても良いのでは。発音の仕方が甘い。話すように読む工夫を。うねりあり。高さが一定。長い文わかりにくい。ぶつ切り感がある。
3	プール	岡田	2位	言葉が早足になるところがある。発声が少しふわっとしている。内容もう少し突っ込んで欲しい。やわらかい読み、明るい方が良い。取材よくできていると感じた。テンポが同じように感じた。落ち着いたアナウンス。よく映像が伝わってくる。読み下せている。イントネーションは自然。意味の伝わる読みができていた。
4	四天	林	338	強調するときに急に音上がる。文章整えすぎでは。発音は良い。文末が上が気味なのが気になる。意味のかたまりを考えて読むとさらに良い。話すように読んでほしい。もっと幅広い取材を。急に音が高くなった。高低にうねる。文頭が不安定。
5	桃山	島田	327	助詞が強い。文章は自然。読み調子。話すイントネーションで。文末まで丁寧すぎる。うねっている。読んでしまっている。伝えたいところを立てよう。ぶつ切りになっている。長い文何路伝えたいのか分かりにくい。
6	四天	瀬戸	348	早く一気に読むので表情がない。原稿わかりにくい。表現がかたい。もう少し取材が欲しい。文末が少々上がり気味。口の中の使い方。もう少し自然に話すように読もう。明るく輪郭がハッキリした声。長い文にうねりが見られる。
7	浪速	近藤	339	声を潜めた印象。声が前に出てきていない。校内放送の内容か。ぶつ切りに聞こえる。立て直す箇所がわかりにくい。文の意味を伝えるイントネーションになっていない。プロミネンスの取り方が不自然。やや演じている感じ。うねっている。高低の幅が低い。
8	渋谷	砂川	360	自然な発声だがポイントを伝える力はいまひとつ。グループですごろくと言う情報が遅い。落ち着いているがまだ話し言葉になっていない。文の係り受けがわかりにくい。意味を考えて読もう。マイク近いのでは。意味の塊を意識した読みだと思う。
9	府箕面	和田	349	発音が滑るところがある。まっすぐ声が出てこない。高低の幅が狭い。発音は良いが一語一語をもう少し丁寧に発音しても良いのでは。早口が雑に聞こえてしまう。リード文工夫欲しい。特に文末にかみあり。長い文整理できていない。取材をもっと。最後の一文の内容がテーマと外れた。
10	桜塚	赤木	353	早口。文末が特に早い。身近な話題だが核がない。前半は良かったが後半が分かりにくかった。意味のまとまりを考えて。話すように読む工夫を。聞きやすい声。一番のテーマが何か分かりにくい。早い。高低の意味のつながりはできているのもっとゆっくりと。
11	渋谷	山添	入選	原稿工夫を。ルールもっと丁寧に伝えないとわからない。スピードはほどよい。落ち着いたアナウンス。読み方は自然だと思うが一つ一つの単語の発音がやや雑。引用文の処理に工夫が欲しい。課題文も意味をよく考えて読んでいる。

第66回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】
アナウンス部門 審査結果及び講評

審査順	学校名	名前	得点 /500	講評
12	帝塚山	藤井	3位	声は出ているので高低コントロールしてほしい。高いところに張り付くことがある。一気に読んでいる感じ。ややうねりあり。もう少し話し言葉としての気楽さが欲しい。間の取り方は工夫されていると思う。意味のわかる読み方である。
13	四天	岩倉	4位	ふわっとしている。シャープに伝えるところが欲しい。原稿工夫ほしい。もう少し取材が欲しい。取材の仕方は工夫されていると思う。実際使っている人の感想は？ 落ち着いた読み。自然な読みに近づいている。
14	夕陽学	武生	6位	出だしが低い声は届いている。強調の仕方が少し自然でない。リード文気になる。活動内容がわかりにくい。しかし以下の下げ方不自然。結末は同好会のニュースと関係なしの意見では？ 長い文に迷いが見られる。意味の塊を意識した読みである。課題文が少しうねる。
15	相愛	神館	1位	間は取れているが表現にはもう少し幅が欲しい。助詞が少し強い。ペースが一定。遠慮したような読み。文末まで丁寧すぎる。もう少し高めの声が使えと良い。間の取り方が少し不自然。聞き取りやすい声。スピードや間の取り方工夫されていると思う。落ち着いたアナウンスメント。文章の構成もっと工夫しよう。
16	箕面自	山元	5位	少し細切れの印象。文章の構成が分かりづらい。声が暗く響いている。原稿自体は工夫していると思うが間の取り方がやや不自然なので伝わりにくい。聞き取りやすい声。全体的に低くなっている。話すように読むことをもう少し意識してほしい。
17	相愛	片岡	入選	低めで生き生き感が少ない。文と文の間ぶつ切り感あり。少し音が抜ける。ラストが少しドラマチック。長い文の切れ目が速くなりがち。1文1文の間が長いように感じる。スピードを含めて緩急をつけた方が伝わりやすい。
18	宣真	矢野	350	高めに張り上げるところが多く、イントネーションが自然でない。話題に深まりが欲しい。浮ついたリード文。文の構成を意識して。うねりが気になる。自然な日本語の息で読もう。文の途中のうねりが気になる。高く立て直すところが多い。文頭と文末の読み方が変わりすぎる時もあります。助詞が延びる。
19	渋谷	家合	354	話すようにできているが、ポイントを強調することはあまりできていない。アクセント違い。メリハリが少ない。クセの残る読み。自然に話すように読んでほしい。間の取り方が少しぎこちない。やや慌てている印象。文章自体をもっと整理するともっと伝わりやすくなる。
20	東大谷	貴島	359	物の説明が多く深まりが少ない。ややうねりあり。イントネーションやアクセント気をつけて。立て直しは悪くないが、文の途中が少し上がり気味なのが気になった。立てるべき箇所ではないところも立ててしまっている。節のついた読みに聞こえる。音の幅ももっと。課題、読み下せていないところが多い。
21	四天	鍵本	入選	全体に声を張っているのでコントロールしてほしい。もう少し話を深められる話題だと思う。クセの残る読み。テンポが同じ。ぶつ切りに聞こえる。発声は良い。文の途中でうねりがある。キーワードを強調しようとしているのはわかるがかえって不自然。話すように自然に読もう。